

## 【案件概要】

# イシンジロ県小学校7校における公衆衛生向上計画

## 1. 計画の概要

被供与団体	アコード・ウガンダ
供与額	80,318米ドル
署名者	エレン・バジェンジャ(代表)
計画名	イシンジロ県小学校7校における公衆衛生向上計画
実施地	イシンジロ県イシンジロ町, ンガラマ準郡及びカカンバ準郡 (ウガンダ西部)
供与内容	雨水貯水タンク7基, トイレ棟7棟
贈与契約署名日	2017年3月7日

イシンジロ県はウガンダ南西部のタンザニアとの国境に位置します。同県から北東部のカラモジャ地域まで延びる一帯はキャトル・コリドーと呼ばれる乾燥地帯であり、他地域と比べ年間降雨量が少なく、さらに標高1,800メートルの丘陵地帯にあるため住民は地下水へのアクセスがなく水の確保が困難となっています。同県の報告書によると、安全な水へアクセスできる住民はわずか30パーセントのみであり、小学校においては28パーセントでした。本計画の対象7小学校の生徒は、往復平均10キロの道のりを歩いて学校用の水汲みをしなければならず、そのため学習に充てる時間と労力を奪われています。本計画対象7小学校ではトイレ不足が深刻化しており、既存のトイレ1基あたり平均125人の生徒が使用している上、7小学校中6校が仮設トイレを使用しており、劣悪な衛生環境にあります(政府推奨は1:40)。また、トイレ不足により長時間トイレ待ちをしなければならいため付近の草むらで用を足す生徒が多く、腹痛や下痢を起こす病気の原因にもなっています。本計画では、雨水貯水タンク7基及びトイレ棟7棟を建設することにより、生徒の水汲み作業の負担、水不足及び衛生環境が改善され、対象の小学校7校に通う計2,111人(男児940人, 女児1,171人)の生徒が裨益します。

## 2. 贈与契約署名式

2017年3月7日、在ウガンダ日本国大使館において、中村温臨時代理大使とエレン・バジェンジャ代表の間で贈与契約が署名されました。[プレスリリース\(英語\)](#)

